

『見性院住職からの一言 その十九(あらためて「出家」とは何か)』
を読んでいただいた読者との(禅)問答

第一話

A 僧侶：途中出家の私にはドキっとする話です。僧侶の名に恥じないよう精進していきたいと思います。

私：コメントをありがとうございます。これは弟子たちを立派に育成出来ていない自らの不甲斐なさと懺悔文と自戒です。自らの猛省と奮起 再起を促すために書かせていただきました。
改めて初発心 百千万発を思う日々です。

B 住職：ご無沙汰しております。「途中出家」とは何ですか？ 私の周囲ではあまり耳にしない言葉です。

私：途中出家とは私の造語です。今改めて法臘(ほうろう)と発菩提心の意義を考えています。
もちろん途中出家を否定するつもりはありませんが中途半端な出家であればあまり意味はないのかなと思うこの頃です。

B 住職：で、どういう意味なんですか？

臨済宗妙心寺派では、「第二の人生」として退職後に僧籍をとりたい人に資格を取らせ、空き寺の住職に充てるという事業を推進しています。

しかし、なかなか上手くいく事例は少ないです。

もと取締役クラス以上で僧侶を志す人を数百人リストアップしているというひとを面接したことがあります。出家というものを理解もしておらず、ただ食べ物にしようとする私の強い人が多いように思います。

私：途中出家についての定義は長文になりますので後日を期します。私の基本的な考え方は30歳を過ぎてからの出家を途中出家とします。

臨済宗妙派も組織ですから寺院護持が第一です。世の中で一応成功した人を僧侶に改造して充て職にする。資産があって知識人であれば何とか檀家を御していけると考えたのでしょう。寺院経営者としては何とかなるのかもかもしれませんが。それが今の宗門の考えることです。

B 住職：私はもともと在家。18歳で得度しましたが、宗派を転々とし、35歳で妙心寺派に転派して掛搭(かた)し、ようやく落ち着きました。そういう意味では、途中出家の定義に当てはまるのでしょうか。しかし、羅睺(羅)(らごら)には羅睺(羅)の、在家出家には在家出家の良さがそれぞれあると思います。大切なのは菩提心ではないのでしょうか？

よく言われることではありますが、寺院を護持するのか、仏法を護持するのかという問題です。

仏法を護持するにしても、ただ護持するという感覚では護持もおぼつかないと私は思います。

出家者であるからには修行者・学人であり、慈悲を本懐とするものであると私は信じています。

(大上段からのご発言に私も大上段で発言してみました😊)

C 一般の方：一つ一つのお言葉をかみしめつつ自身の人生を振り返って見たいと思います。来月行政書士会でお墓をテーマにセミナーが開催されますので、参加しようと思っています。残暑厳しくご自愛下さいませ。

第二話

D 住職：こんにちは😊

フェイスブック読ませていただきました

民営化っていうのがイマイチ？意味というか構造がつかめません

一番改革されたいところを、お時間があって気が向かれたときにご教示ください😊

私：ここは敢えて煽ったカタチです。

ソロソロ一般常識の通用する社会を目指すという意味です。

D 住職：あ、これから出かけます。

一人お茶なのですが、いまだにほぼご門徒(檀家)に会いにくい店に行きます。後からよろしくです！

私：いつまでも特殊な世界だからでは世の中は通りません。普通の娑婆世界 濁世の中で一輪の蓮の花を咲かせて行こうが私のモットーです。

ものすごくシンプル簡単なことですがこれがお寺の世界では最も難しいことです。すべてをご破算にして一から今の時代にあったお寺を作り直しましょうというだけのことです。

「破壊的創造」

規制緩和によりすべてをマーケットに任せてみるということです。

一か八かの勝負にはなりますが。自滅的行為のため誰もやりたがりませんがこれが今の私の究極的救済措置です。お分りいただけたでしょうか？相変わらず浮世離れしてますか！

D 住職：門徒(檀家)さんが、お寺を作る、のですか？

私 : これからのお寺の残された道は二つに一つ 一つが我が寺のように住職がオーナーとなって辣腕を振るい新興的宗教のように信徒を獲得して完全自立の道を突き進む。もう一つは単独で維持出来なくなるお寺は3分の2以上になるかと思しますのでそこで再編成になるかと思えます。
その時に単独で生き切れるオーナー寺院に吸収してもらうか核となるお寺の傘下ではなく対等的な再編の道を探っていくかどちらかではないかと私は読んでます。

D 住職 : あー、良かった??です!
わたしは門徒さん(檀家)の訛知らず方が、寺院の乗っ取り(財産のみ、、、)をやりたいがるので、うんざりしてましたから。
住職オーナー制度は大賛成です!!
わたしは、やっていけるかといわれると吸収されたいほうですが、、。🙄
ただ、土地もそれなりにありますので、使い道を知っている方が関わってほしいですね。
と、人ごとのように言ってます、、、

私 : 一喜一憂 嬉しくもあり悲しくもあり。
私の人生もいつもそうですから。悲喜こもごも苦楽があって人生ですから。

D 住職 : ネット環境はすぐできますから、地域ももちろんですが、遠くのひとでも関われば良いですね🙄

私 : 運命の中でしか生きられませんと同時に運命の中で生かされていくのも人生かと思えます。

D 住職 : この際、いろんな宗派のお坊さん方が関わり合って一つのお寺を共有してもいいかと。
すみません、、
橋本さんのチャットを読まずに進めています、、

私 : その通り。〇〇地区の〇〇さんとうこうして繋がっていること自体が生かされている証拠なんでしょうね!

D 住職 : こういうことが普通になりつつあるのでは??と希望も含めて👍

私 : 正に超宗派の時代。私の計画している第二本堂は全宗派対応型です。総合仏教事務所(研究所)も併設です。
〇〇さんとのやりとりも空想が膨らみ面白いですね!

D 住職 : 提携したいです!!

早く、私共が、黒字化にならなくては、、

私 : ハイ!

D住職: 本音を言うと、お布施を嫌がるのにお寺は自分たちのものだ、とか言うご門徒方(檀信徒)は、かかわれない方法で運営していけば良いと思っています
そのやり方が??ではありますが一。

私 : その通りです。門徒(檀家)も駄々っ子です。でもそのうち諦めます。ウチが
そうです。
あとはあなたの自由にやってくださいよ。でも私達のことは見捨てないでよ、
だって。
調子もいいですがいじらしいところも少しはあります。
人間ですから。

D住職: うむー、
ウチのは(なんて言葉だ、、、)暴力団っぽいのですので、いじらしくはないのが、
中心にいます、、、
わたしを追い出そうとして画策に今日も出歩いております、、
ですが、その人の言う事を聞く、人の良い??ご門徒(檀家)もおられますの
で、、、

- ※注 A 僧侶 浄土真宗僧侶(超宗派の会会員)
B 住職 臨済宗住職、大学教授(私とは大学院で同期)
C 一般の方 (私の知人)
D 住職 浄土真宗住職・尼僧(超宗派の会会員)

法臘(ほうろう)一具足戒を受けて僧になってからの年数

羅睺(羅)(らごら)一釈迦の一子でのちに釈迦の十大弟子の一人に数えられた。

転じて寺院の子弟を意味することもある

掛搭(かた)一僧堂に籍をおいて修行すること